

Reference D7

Japanese Utility Model Publication No. 32-1573

Publication date: 19 March 1957

Application No.: 30-37880

Filing date: 19 August 1955

Applicant: Toichi HIGUCHI, Tokyo

Title: Lacquer spayer for permanent wave

Related disclosure:

In the drawings, the reference numeral 1 designates a drum body formed by throttling a metallic plate, its upper mouth is provided with a male screw base 2 integrally with the drum body, and it is to contain a permanent wave lacquer. The numeral 3 shows a cylindrical lid fabricated by throttling the metallic plate like the drum body 1, its lower portion is equipped with a female screw base 4, and it also serves as an air compression chamber.

The reference numeral 5 shows a manual air pump fixed on the back face of the cylindrical lid 3, and its check valve 6 consists, as shown in Fig. 3, of beak b provided circumferentially with an injection orifice a, a soft rubber tube c tightly fitted in said beak b, and a vinyl tube 7 which covers both the beak b and rubber tube c and is positioned extensively and high in the air compression chamber 10. If the air pump is actuated to compress the air, said air pressingly opens the rubber tube c from the injection orifice a and passes through between the beak b and the rubber tube c so as to be injected into the vinyl tube 7, and then the air is injected from a thin orifice d in the upper end of said tube 7 into the air compression chamber 10. Further, if the action of the air pump is stopped, the pressure acting on the injection orifice a is reduced so that the rubber tube c returns to its original position due to its own elasticity thereby

to block the injection orifice a. The reference numeral 8 shows an air withdrawal valve disposed on the upper face of the cylindrical lid 3, and it is used to dispel to the outside the compressed air in the drum body 1 when the cylindrical lid 3 is disengaged from the drum body 1. The reference 9 is a spraying beak disposed on the upper face of the cylindrical lid 3, and its pressing-down opens the valve when the lacquer in the drum body 1 rises in the sucking tube 11 and is injected in the very fine particles. The reference numeral 12 designates a vinyl packing involved between the base 4 of said cylindrical lid 3 and the base 2 of said drum body 1.

64 F 11
(125 E 64)

特 許 庁
実 用 新 案 公 報

実用新案出願公告
昭32-1573

公告 昭 32.3.19 出願 昭 30.8.19 実願 昭 30-37880

出願人 考案者 樋 口 藤 一 東京都墨田区太平町2の6
代理人 弁理士 大 賀 賀 二

(全2頁)

パーマネントのラツカー噴霧器

図 面 の 略 解

図面は本案噴霧器を示すもので第1図は外観図第2図は縦断正面図、第3図は空気阻止弁部分の拡大縦断正面図である。

実用新案の性質、作用及効果の要領

本案は図面に示すように空気阻止弁にビニール管の一端をかたく貫嵌すると共にその他端は空気圧縮室の上位まで高く臨むようにした手押空気ポンプと空気抜弁及噴霧嘴とを備えた金属板を絞り出して成形した筒蓋を金属板を絞り出して成形した胴体に着脱自在に螺着して成るパーマネントのラツカー噴霧器の構造を新規とするものであつて図に示す1は金属板を絞り出しによつて成形した胴体であつて上口に雄捻子口金2が胴体と同体的に設けられ内部にパーマネントラツカーを入れるものである、3は胴体1と同様金属板を絞り出して成形した筒蓋であつて下部に雌捻子口金4を備え空気圧縮室を兼ねるものである。

5は筒蓋3の裏面に固定した手押空気ポンプであつて其の阻止弁6は第3図に示すように円周に噴気孔aを備えた嘴bとこの嘴に密に嵌め込んだ軟質ゴムチューブc及この両者を覆え且つ空気圧縮室10内に高く延長位置せしめたビニール管7から成り、空気ポンプを作動して空気を圧搾するとその圧搾された空気は噴気孔aからゴムチューブcを押し開いて嘴bとゴムチューブcとの間を通つてビニール管7に噴出し、次で該管の上端の細孔dから空気圧縮室10に噴出する。又空気ポンプの作動を停止すると噴気孔aに作用する圧力が減するのでゴムチューブcは自己の弾力で元に戻り噴気孔aを閉塞するものである。8は筒蓋の上面に設置した空気抜弁であつて筒蓋3を胴体1から脱するとき胴体1内の圧搾空気を外部に放出せしむるに用いるものである。9は筒蓋3の上面に設置した噴霧嘴で之を押下すると弁が開いて胴体1内のラツカーは吸上管11を昇つて非常に細かな噴

霧状となつて噴出するところである、12は筒蓋3の口金4と胴体1の口金2との間に介入したビニールパッキングである。

本器を使用する場合には筒蓋3を螺廻して胴体1から脱し胴体1内にパーマネントラツカーを入れ筒蓋3を図示のように螺合し、然る後手押空気ポンプ5を作動する。

斯くするとき空気は空気圧縮室10内に圧入される。従つて胴体1内のラツカーは其の圧力を受けるので噴霧嘴9の頭部を押して其の弁を開くと外方に向つて嘴9から噴射せらるゝに至るものである。そして噴霧嘴9の押圧をやめると弁が閉ざれて噴射は止む。又胴体内のラツカーがなくなつて之を補充する場合には先ず空気抜弁8を開いて残存空気を放出し次で筒蓋3を脱する。

本案は以上の説明及図面に示すように胴体1及筒蓋3を金属板を絞り出して成形し其の螺合部分には堅牢な口金2及4を同体的に設けたので高压(3kg)に耐える。従つて極く細かい霧として強く噴射せしむることが出来る。そしてこのことはラツカーを頭髮の表面だけでなく奥深く然も微粒子として吹きつけ得る効果をもたらすものである。のみならず軽くて取扱易い利点を招来した。又本案は空気抜弁8を設けてあるので圧搾空気が残存して筒蓋3がとれないときでも之をあけることによつて軽快にあけることが出来る。更に又本案は次の効果を有する。それは元来パーマネントラツカーはアルコール、水、海糊(海から採取する自然接着剤)香料の混合物からなつておるため阻止弁6が露出していると阻止弁のゴムチューブcはアルコールのために忽ち侵蝕されるばかりでなく嘴bに附着し弁の作用をしなくなる。又ゴムチューブcの開閉の瞬間ラツカーが空気ポンプ内に侵入する欠点がある。

然るに本案は阻止弁6をビニール管7で覆え其の上端を空気圧縮室の上位まで延長せしめてある

(2)

実用新案出願公告
昭32-1573

ので阻止弁のゴムチューブcはパーマネントラツカーに侵蝕されるようなことなく、又嘴1に附着し弁の作用をなさなくなるようなことがない。更に又空気ポンプ操作のときポンプ内にラツカーが吸込まれるようなことがない効果がある。

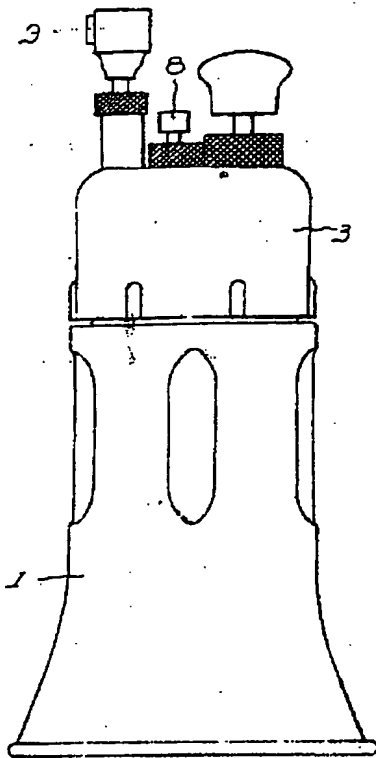
登録請求の範囲

図面に示すように空気阻止弁6にビニール管7

の一端をかたく密着すると共に其の他端は空気圧縮室10の上位まで高く臨むようにした手押空気ポンプ5と空気抜弁8及噴霧嘴9とを備えた金属板を絞り出して成形した筒蓋3を金属板を絞り出して成形した胴体1に着脱自在に螺着して成るパーマネントのラツカー噴霧器の構造。

第3図

第1図



第2図

